

## 発展を目指して… 取手市の農業

飯島悠介



**問** 新規就農の補助を受けるための県が認めた研修機関は、水戸市近隣にしかない。新規就農者推進のため、市内での研修・教育を受けられる体制づくりを。

**農政課長** 通いやすい場所で受講することができれば、就農の間口が広がる。今後、県と協議していきたい。

**問** 地域おこし協力隊を受け入れ、地域の農業をコーディネートする役割を担っていたら、当時の農業が発展すると思われるが、まちづくり振興部長 農業のオートマチック化、スマート農業に変わってきている面もある。議論を重ねて検討していきたい。

**問** とりで生涯現役ネットにおいて、生きがいを持って生きる地方での暮らしのための今後の方向性は。

**答** 農業を目的に移住される方への支援として、さまざまな補助制度などを紹介していきたい。

## どうなる？ 防災ラジオ

渡部日出雄



**問** 今回、防災ラジオが導入されるが、無償で配布する場所や関係者は。

**安全安心対策課長** 公共施設、指定避難所、福祉避難所、自主防災会、市政協力員、民生委員を予定。

**問** 防災ラジオの電源は。

**答** 普段はアダプターによるコンセントから。停電時などは単3電池3本で使用。

**問** 非常時には、強制的に電源が入って最大音量で情報が流れると聞いている。受信機能のテスト放送は、どの程度考えているのか。

**答** 月1回程度は試験放送を行いたい。

**問** 鉄筋コンクリートの建物内でも作動するのか。

**答** 受信できると考えている。広報とりで以外にどんな方法を考えているのか。

**答** ホームページのほか、チラシを作成し、市内で人が集まる場所への配置や地域の皆さんのご協力を得て周知したい。

**問** 入手申し込み多数の場合、災害時に支援が必要な方を優先してお渡ししては。

**答** そのように考えている。特に、文字表示付きの防災ラジオ250台は、聴覚障がいのある方を優先にする。

## いじめ問題対策 市の対策求める

小池悦子



**問** いじめ自死問題に関し、

県の調査報告書を受け、市長の役割をどう考える。政策推進部長 これまで以上に教育委員会と連携を図り、二度と起こらないよう再発防止策を作っていく。

**問** 教育委員会職員が都合の悪い情報を提供せず、教育委員をミスリードする姿勢は不当極まりない。この調査報告書への評価は。

**教育長** 深く反省し、速やかに是正した。

**問** どのように反省しているのかを全生徒、保護者、市民に伝えるべき。

**答** 謝罪文をホームページに掲載。当時の3年生保護者に調査結果報告書を郵送。入学式では反省を踏まえた再発防止の決意を伝えた。

**問** 教育環境改善のため、各学校に市独自の加配を。

**教育部長** スクールソーシャルワーカーの配置、校務支援システム導入など業務軽減を図っている。教員不足による人材確保も厳しく、現段階で加配は難しい。

**問** 市民参加の教育自治を育てるため、市民参加の地域づくり協議会設置を。

**指導課長** いじめ問題対策連絡協議会に地区代表や人権擁護委員、PTA代表の方にも参加いただいている。

**【その他の質問】** コミュニティバス運行の大転換・東海第二原発の再稼働中止を県知事に求める自治体

## 中長期課題を見据え 町づくりを

佐藤隆治



**問** 市として2040年問題をどう捉えているか。

**市長** 団塊ジュニア世代が高齢者入りする時期に急速な高齢化が進む。空き家の急増、都市の空洞化、インフラの老朽化が著しく進行するなど複合的な課題がある。市でも既に扶助費の増大が著しい。総合計画や地方創生総合戦略を掲げ生産年齢人口割合の引き上げに取り組んでいる。

**問** 現在までの総合計画、総合戦略の評価は。

**政策推進課長** 今期総合計画は最終年。重点事業評価を積み上げ、15施策全てでA評価。総合戦略ともに順調に取り組みを進めている。

**問** 総合計画と総合戦略の策定への進捗度は。

**答** 次期基本計画は総合計画と総合戦略を一本化する。策定委員会や有識者による総合計画審議会を設置し、今年度内の策定に向け審議中。

## 東京芸大との連携 生かして町づくりを

佐藤 清



**問** 取手駅ビル内の東京芸大と市のギャラリーの進行



東京芸大生による「ふれあいコンサート」

**状況は。**

**政策推進部長** 「たいけん美じゅつ場(VIVA)」は、芸大側の発信拠点(作品収蔵や展示スペース等)等として、また、アートギャラリーとして整備。12月にはオープンしたい。

**問** 市は芸大とどのような連携をしているか。

**文化芸術課長** 年1回協議し、小中学校授業、ふれあいコンサート、市長賞などの他さまざまな事業で連携。

**問** 日比野美術学部長の話で、川を含めた構想があった。連携には関係機関との検討が必要との答弁後、変化は。

**建設部長** 河川の活用事業に芸大が加わることで、事業展開が広がると考える。

美術学部長のこれまでの取り組みや、野外ステージのようなもののは何っている。

## 色覚障がい 適切な理解を

赤羽直一



**問** 色覚障がいについての市の理解は。

**福祉部長** 行政の発行物等でも配色によって見づらさを感じる人もおり、配慮が必要と認識。

**問** 市職員採用における色覚検査は。

**総務部長** 行っていない。消防長 検査はしていないが、消防職は煙や出血の色などの判断が職務上必要であり、視覚に異常がないことを定めている。しかし、全ての色覚異常を排除するものではない。

**問** 県の色の使用基準(ユニバーサルデザインサービス情報ガイドライン)もある。市の今後の方針は。

**福祉部次長** 市発行物など、より多くの方へ確実に情報を提供するため、カラーユニバーサルデザインを取り入れていく必要がある。ガイドライン作成も検討していく。

**【その他の質問】** 藤代駅北口整備・投票率向上